

「平和大通り公園の利活用のためのワークショップ」通信

この度は、「平和大通り公園の利活用のためのワークショップ」（第1回）にご参加いただきありがとうございました。
本通信では、このワークショップ結果の概要についてお知らせします。

第1号

2024年
8月発行

日時:令和6(2024)年7月24日(水)18:30~20:30

場所:合人社ウェンディひと・まちプラザ

参加者:27名

参加者の皆様には、5つのテーブルに分かれていただき、3つのステップに沿って「社会実験で検証するルール」をテーマに意見交換していただきました。

※当初予定したプログラム内容を一部変更して実施しています。



Step1

チェックイン

Step1では、グループワーク(グループに分かれて話し合うこと)に先立ち、「平和大通りの事業概要」及び「ワークショップの進め方」、昨年実施したワークショップの「振り返り」を行った後、グループ内で自己紹介を行いました。

自己紹介では、今回のワークショップにどのような思いをもって参加されたのかも、併せて紹介していただきました。

紹介された「思い」は、世界と日本をつなぐ公園として、また、未来の子供が広島を好きになる公園、広島らしさを発信できる公園など、「平和大通り公園が広島を誇れる公園であって欲しい」という思いや、地域のにぎわいの場として、コミュニティを作れる場としてなど、「地域の活性化の拠点としての公園」、平和大通りの成り立ちなど、「平和を考える公園」などといった様々な「思い」でした。

＜紹介されたワークショップへの思いの一例＞

以下に掲示した「思い」は、事務局において要約しています。また、趣旨が類似した「思い」は、代表的な思いを掲載しました。

班名	A班	B班	C班	D班	E班
ワークショップへの思い	- 平和への想い - 都心全体の回遊性の向上 - 平和大通りを核にしたコミュニティづくり - 音楽や音響がスムーズに運営できるルールづくり - 自分の子どもが大人になった時に広島好きになる場	- 開発でなく利活用の場 - 平和大通りの歴史を知らない子どもや県外の方に、豊かな樹木にふれあいながら、知ってほしい - 子どもたちの笑い声がひびく場 - 世界の人と日本人をつなぐ場	- もっと人で賑わう場づくり - 広島の魅力発信の場 - どのように活用していくのか、その上で何ができるのかを考える - 平和大通りのマンションの住人なのでよりよくなるようにしたい	- 植物の活用 - 平和のシンボルロードを実現するためのルールづくり - 地域のにぎわいと活性化の場 - 広島らしさがある場 - 広島を誇れるような場	- 自慢できるエリアづくり - 近寄りたくなる平和大通りづくり - 通り過ぎるだけの空間をにぎわいの空間に - 広島を盛り上げたい - 地元町内会として有意義なものを作り上げたい

Step2

社会実験で実証するルール・どんな企画内容なら検証できるか考えよう

＜グループ構成＞

Step2では、まず、昨年度実施した社会実験の概要が紹介されました。

社会実験でどのようなルールを検証する必要があるか、どんな社会実験の内容であれば検証できるかを話し合いました。様々な立場の方に意見を出していただきながら、企画内容について検討していききました。検討する際には、検証すべきルールや出展(出店)時の課題などについて議論されました。

班名	主なジャンル
A班	音楽、神楽、トーク系、踊り
B班	広島らしさの発信(平和関係イベント)
C班	飲食、地産地消
D班	物販
E班	アウトドア

《各班のまとめ》

班	検証するルール	社会実験のジャンル※	課題や疑問	気になった意見
A	・音楽イベントを行う場合の音量（ルール案の65デジベルで大丈夫か？）、時間帯、スピーカーの向きなど	○音楽	・博報堂のステージがA班でも使えないか ・都心全体の回遊性の向上 ・地元と連携しないと都心の回遊性やにぎわいにはつながらない	・車両との接触事故対策。 ・町民のコミュニティをつくれる場所にしていきたい。 ・市民や近隣住民にとっての平日利用のための利活用やルール。 ・「みんなの声を集める」事務局になる。大きなボードを立てて様々な世代や立場の人の意見や感想を「見える化」する。
B	・公園の一般利用者および周辺地域への配慮 ・利用動線 ・照明や光 ・公園内樹木・慰霊碑等	○広島らしさ発信（平和の木でクラフト体験）	・クラフト体験で発生する木くず等の処理	・商業的な活用ではなく、平和大通りの歴史や成り立ちに配慮した活用方法とする。 ・平和大通り公園の樹木や公共空間を生かした活用が望まれた。
C	・利用動線	○飲食	・出店条件の明確 ・コンセントの位置など ・飲食スペースはどうするのか ・定められたルール（その場で肉を切ってはいけない等）にどのように対応するか	・平和大通りに多くの人に集まってほしい。 ・広島の地元の人々が日常的に利用するような店舗を紹介できればいい。
D	・既存樹木への配慮	○物販（花とアート）	・実際の店舗ができる時期 ・経営面での現実性	・側道側から人の流入を増やすことで賑わい向上につながるのでは。 ・慰霊とにぎわいを共存させるには単に商業店舗をつくれればいいという話でもない。
E	・利用者の動線 ・滞留による経済的な効果 ・子供たちの声が近隣に迷惑とならないか	○アウトドア（子供を対象としたもの）	・出店面積は不足しないか ・子供たちへの安全配慮 ・受付の必要性	・一過性のイベントではなく今後につながる提案が必要。 ・ほかの出店者とのように共存していくかが重要。

※ 企画内容は確定したのではなく、今後、実施に向けた調整が行われます。

Step3 議論内容のまとめ

Step2で議論した内容をグループ内で共有する時間としました。その後、班ごとに共有した内容について発表してもらいました。



第2回開催のお知らせ

《開催日時》

- ・令和6(2024)年9月4日(水)18:30～20:30
- ・受付開始:18:00

《開催場所》

- ・合人社ウエンディひと・まちプラザ 北棟5階 研修室 A・B

《ワークショップ(第2回)での議論》

- ・「社会実験で確認したいルール」を主なテーマとして議論を行う予定です。